

高校生らも訴え ■藤沢

「戦争をしない国」を手渡したい——。JR辻堂駅（藤沢市）の北口デッキでは、平和を願う集会「ふじさわ・不戦のちかい 平和行動」が開かれた。地元の市民団体のほか、高校生も参加して、核兵器廃絶などを訴えた。

核兵器廃絶をめざして署名活動に取り組む高校

生5人も参加。1年生の青柳潤さん（16）は「いま、世界ではミサイルが飛び交っている。武力ではなく話し合いで解決すべきだ」と呼び掛けた。

実行委の1人、植木裕子さん（70）は「若い世代が、不戦の取り組みを引き継いでほしい」と高校生らに期待を寄せていた。（関ゆみん、角津栄二）



「武力ではなく、話し合いで解決を」と訴える青柳潤さん（右）＝藤沢市